

I 事業報告

本財団は、2011 年 4 月 1 日に旧法人の解散登記及び新法人の設立登記を行い、新しい定款と諸規程を定めて特例民法法人から公益財団法人に移行して 2023 年度で 13 年目を迎えた。1979 年の財団創立当初から設立目的を堅持し、公益財団法人移行後もそれまでと同様、定款に掲げる目的達成のための事業を行っている。

1. 研究奨励金交付事業

2023 年度の研究奨励金交付事業は、第 34 回理事会（2023 年 2 月 24 日開催）にて決議され、第 25 回評議員会（2023 年 3 月 6 日開催）にて承認された事業計画書に基づいて実施した。

前年度の奨学者審査委員会にて選考された、2023 年度研究奨励金受給者（以下奨学者）9 名の他、コロナ禍等で来日を延期していた 2020 年度奨学者 2 名、2021 年度奨学者 1 名の来日を支援し、本財団奨学者の累計は、886 名（120 ヲ国/地域から）となった。

奨学者には、研究奨励金として研究滞在費月額 22 万円、来日一時金 12 万円、往復航空旅費及び旅行者保険を支給すると共に、必要に応じて滞在中の宿泊費を補助した。

(1) 研究奨励金受給者

2020 年度 2 名（男性 2 名）

国籍/地域別 合計 2 ヲ国

- ・欧 ヲ州：ポーランド(1)
- ・アフリカ：エジプト(1)

2021 年度 1 名（男性 1 名）

国籍/地域別 合計 1 ヲ国

- ・欧 ヲ州：ウクライナ(1)

2023 年度 9 名（男性 3 名、女性 6 名）

国籍/地域別 合計 9 ヲ国

- ・ア ジ ア：タイ(1)、フィリピン(1)、マレーシア(1)
- ・欧 ヲ州：ギリシャ(1)、ハンガリー(1)、ボスニアヘルツェゴビナ(1)
- ・アフリカ：エチオピア(1)、ナイジェリア(1)、モザンビーク(1)

() 内は人数

<受入れ機関>

宮崎大学、九州工業大学、京都大学、獨協医科大学日光医療センター、北海道大学、大阪大学、物質・材料研究機構、長崎大学、愛媛大学、東北大学、奈良先端科学技術大学院大学

② 来日時のガイダンス

奨学者に対して日本到着時にガイダンスを実施し、査証、在留カードの確認、研究奨励金及び来日一時金等を支給した。また、住民登録や銀行口座開設等、滞在に必要な手続きを説明した。ガイダンス終了後は受入れ研究機関への移動をサポートした。

③ 修了式

日本での研究を終えて帰国する奨学者に対して、本財団事務所にて修了式を実施した。理事長より修了証書およびメダルを授与した。また、奨学者にはプレゼンテーションを義務付け、母国の紹介や日本滞在中の生活、研究活動等について報告してもらった。

④ 小レポート

奨学者には、各受入れ研究機関での研究活動の概要を提出してもらった。

(2) 2024 年度研究奨励金交付対象者の決定

① 応募条件・書類の不足確認

事務局にて、募集要項に基づき下記事項の確認作業を行い、条件を満たした応募者を奨学者審査委員会に諮り、審査対象候補者とした。

- ・応募条件を満たしているか
- ・応募に関する注意事項が守られているか
- ・応募書類が全て揃っているか
- ・必要事項が記載されているか

② 研究奨励金交付対象者の書類審査及び選考

奨学者審査委員は、事務局がまとめた審査対象候補者の応募書類に基づき審査を行い、採点を附した所見を作成した。

各審査委員の評価は事務局にて集計し、審査委員は、その集計結果に基づき得点順かつ国の多様性を考慮し、2024 年度研究奨励金交付対象者 15 名、補欠 2 名を選考した。

上記結果は理事長決裁を経て、交付対象者に通知された。

その後、1 名から辞退の申し出があったため、補欠者を繰上げしたが、当該者の妊娠が判明したため来日延期とした。

以上の結果は、第 37 回理事会（2024 年 3 月 4 日開催）に附議、承認された。

③ 募集経過

本財団ホームページに募集要項を掲載し、日本時間 2023 年 4 月 1 日～2023 年 6 月 30 日まで応募を受け付けた。

④ 応募総数

2024 年度研究奨励金制度			前年度
応募者総数			230 件 (51 カ国)
性別	男性	150 件	146 件
	女性	77 件	63 件
	不明	3 件	
地域別	アジア	128 件 (13 カ国)	98 件 (14 カ国)
	大洋州	0 件 (0 カ国)	0 件 (0 カ国)
	中東	11 件 (4 カ国)	14 件 (5 カ国)
	アフリカ	62 件 (16 カ国)	63 件 (16 カ国)
	北米	1 件 (1 カ国)	2 件 (2 カ国)
	中南米	8 件 (3 カ国)	9 件 (7 カ国)
	欧州	20 件 (14 カ国)	23 件 (10 カ国)

⑤ 2024 年度研究奨励金交付対象者

計		14 名
性別	男性	9 名
	女性	5 名
国	アルゼンチン(1)、インド(2)、カメルーン(2)、シリア(1)、タンザニア(1)、ナイジェリア(1)、フィリピン(1)、ブラジル(1)、フランス(1)、ミャンマー(1)、マレーシア(2)、(11 カ国)	

(3) 2025 年度研究奨励金制度の募集について

募集要項(Research Fellowship Program 2025 Announcement)を本財団ホームページ上に公開した(2024 年 1 月)。また、在日外国公館へ募集要項を送付し、2025 年度研究奨励金制度について紹介した。

募集期間：日本時間 2024 年 4 月 1 日～2024 年 6 月 30 日

2. 国内研修旅行の実施

奨学者を対象に、日本文化・歴史への理解を深め、また、科学技術の平和利用を学ぶことを目的として、国内研修旅行を実施しており、本年度も広島県を訪れた。その際の日程と訪問先は下記の通りである。

<第一班>

日 程：2023 年 7 月 29 日～31 日（2 泊 3 日）

訪問先：平和記念公園及び資料館、広島城、宮島

参加者：奨学者 5 名、理事長、事務局職員 2 名

<第二班>

日 程：2023 年 11 月 11 日～13 日（2 泊 3 日）

訪問先：平和記念公園及び資料館、縮景園、宮島

参加者：奨学者 6 名、理事長、常務理事、事務局職員 2 名

その他：被爆アオギリ二世の苗木を受贈。

3. その他、研究奨励金交付事業に関連した活動

(1) 本財団事務所建物と庭園

本財団事務所は、数寄屋造りを意匠とした木造建築であり、付随する庭園は石灯籠や、枝折戸、生垣、つくばいなどを配し、松、櫟、檜、枝垂桜、椿、紅葉や四季折々の草花を楽しめる日本庭園である。財団を訪れる外国人研究者に、「日本」を感じて貰えるように、適切な維持・管理を行っている。

(2) 会報/Newsletter の発行

発行回数：1 回（2024 年 3 月）

修了奨学者からの近況報告や発表論文の紹介の他、2023 年度の活動内容等を掲載した。

(3) 奨学者名簿（MIF Research Fellowship Directory）の発行

来日した奨学者を新たに追加掲載し、2023 年度版奨学者名簿を作成した。

(4) 被爆アオギリ二世の植樹

2023 年 11 月 20 日、広島平和記念資料館の敷地内に植えられているアオギリの種から育てられた「被爆アオギリ二世」を広島市から寄贈を受け、財団の庭園に植樹した。奨学者の財団訪問時には、この植樹がもつ「科学の平和利用」という意識をより一層高めてもらい、母国に帰国後もその意識をもって研究活動に努めてもらうことを期待し、末永く被爆アオギリ二世を育てていくことにしている。

(5) 「わが昭和史」英語版の再版

創立者 松前重義及び本財団理念に対する理解を深めてもらうための資料として再版し、来日した奨学者に進呈した。

(6) 修了奨学者（同窓生）向けサイトの制作

かねてより修了奨学者から要望のあった同窓生を繋ぐプラットフォームとして、Membership サイトを立ち上げた。財団理念を理解した同窓生同士の交流は、年度や国籍の枠をさらに超え、国際友好親善促進の一助となると考える。

(7) 事業活動の広報活動

本財団ホームページ内の「最新情報」に、日々の事業活動をはじめ、研究奨励金制度募集要項公開の案内、交付対象者の発表等を和英文で掲載している。また、会報/Newsletter は紙面での配布以外にホームページ上でも公開している。

II. 管理運営

1. 会議の開催（理事会・評議員会・奨学者審査委員会・評議員選定委員会）

(1) 理事会

第 35 回理事会（ハイブリッド方式にて開催）

開 催 日：2023 年 6 月 2 日

出 席 等：理事現在数 9 名、出席理事数 8 名、監事出席 2 名

決議事項：2022 年度事業及び決算報告・監査報告

事務局長の任免

第 26 回定時評議員会の招集について

奨学者審査委員の選出

報告事項：理事長・常務理事職務執行状況について

第 36 回理事会（ハイブリッド方式にて開催）

開 催 日：2023 年 6 月 26 日

出 席 等：理事現在数 9 名、出席理事数 9 名、監事出席 2 名

決議事項：理事長及び常務理事の選定

第 37 回理事会（ハイブリッド方式にて開催）

開 催 日：2024 年 3 月 4 日

出 席 等：理事現在数 9 名、出席理事数 9 名、監事出席 1 名

決議事項：2024 年度事業計画及び収支予算案

2023 年度奨学者審査委員会の報告

規程の改訂

- 奨学者審査委員の謝金に関する規程の改訂
- 奨学者審査委員への委嘱に関する規程の改訂
- 奨学者審査委員会 審査規程の改訂
- 評議員選定委員会の運営についての細則の改訂
- 研究奨励金給付規程の改訂
- 就業規則の改訂
- 旅費規程の改訂

第 27 回評議員会の招集

報告事項：理事長・常務理事職務執行状況について

(2) 評議員会

第 26 回定時評議員会（ハイブリッド方式にて開催）

開 催 日：2023 年 6 月 26 日

出 席 等：評議員現在数 7 名、出席評議員数 6、監事出席 2 名

決議事項：2022 年度事業及び決算報告・監査報告

役員（理事、監事）の選任

報告事項：第 35 回理事会の審議内容について

評議員選定委員会の審議内容について

第 27 回評議員会（ハイブリッド方式にて開催）

開 催 日：2024 年 3 月 13 日

出 席 等：評議員現在数 7 名、出席評議員数 7、監事出席 1 名

決議事項：2024 年度事業計画及び収支予算案

役員及び評議員の報酬及び費用に関する規程の改訂
定款の変更

報告事項：第 37 回理事会の審議内容について

理事長、常務理事の職務執行状況について

(3) 奨学者審査委員会（ハイブリッド方式にて開催）

開 催 日：2023 年 11 月 7 日

出 席 等：審査委員現在数 8 名、出席審査委員数 6 名

※2 名からは事前に委任状の提出があった。

審議事項：2024 年度研究奨励金交付対象者の選考

(4) 評議員選定委員会

開 催 日：2023 年 5 月 16 日

出 席：監事 1 名、外部委員 2 名、事務局職員

決議事項：現評議員 5 名の再選

新任評議員候補 2 名の選任
報告事項：現評議員 2 名の任期満了に伴う退任

2. 監事監査

監 査 日：2023 年 5 月 16 日・17 日
出 席 等：監事 2 名、常務理事、事務局職員
監査事項：2022 年度事業及び決算報告

3. その他の管理業務

(1) 基本財産の運用

資産運用規程に基づき、できるだけ安全な運用を心掛け、昨年度に引き続き分散投資を進めた。

(2) 運営委員会

事業遂行上、必要な事項について審議をし、かつ過去 1 ヶ月間の出来事を整理するため、理事長、常務理事、事務局長を委員とする運営委員会を毎月開催した。

(3) 業務月報の作成

研究奨励金交付事業活動の動向、寄付金の状況、日常業務等を整理した業務報告書を月例作成した。

(4) 経理業務

上倉公認会計士事務所との業務委託契約に基づき、3 ヶ月毎に本財団事務所において財務書類の確認、財務・会計に係る業務の助言・指導を仰ぎながら、経理業務を行った。

往査日（2023 年 4 月 19 日、8 月 9 日、11 月 1 日、2024 年 1 月 17 日）

(5) 公益法人会計ソフトウェア

PCA 公益法人会計ソフトウェア等を使用して財務帳簿の管理を行っている。

(6) システム保守

(株)東海ソフト開発によるネットワーク/システムの保守点検(1 回/月)

(7) 情報公開

本財団ホームページ上(和文)にて定款、役員等の報酬規程、評議員、理事、監事名簿、事業報告、財務諸表、事業計画、収支予算などを掲載している。

(8) 会費・寄付金

法人会員からは会費(年会費：10 万円/口)を、また個人からは寄付金を頂戴しており、本年度の会費は 4 件(計：40 万円)、寄付金は 48 件(計：50 万円)であった。

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しないので作成しない。

貸借対照表

2024年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	47,276,014	40,191,484	7,084,530
仮払金	110,000	0	110,000
流動資産合計	47,386,014	40,191,484	7,194,530
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	138,477,403	24,887,673	113,589,730
投資有価証券	3,096,281,901	2,888,639,164	207,642,737
基本財産合計	3,234,759,304	2,913,526,837	321,232,467
(2) 特定資産			
研究奨励金交付事業積立資産	13,100,000	18,000,000	△ 4,900,000
修繕積立資産	1,802,611	1,545,086	257,525
退職給付引当資産	3,350,105	2,600,072	750,033
特定資産合計	18,252,716	22,145,158	△ 3,892,442
(3) その他固定資産			
土地	257,878,957	257,878,957	0
建物	19,749,927	21,503,438	△ 1,753,511
建物附属設備	54,600	100,464	△ 45,864
構築物	2,410,365	3,167,199	△ 756,834
什器備品	1,111,103	1,076,597	34,506
電話加入権	2	2	0
保証金	50,000	50,000	0
ソフトウェア	657,894	650,029	7,865
その他固定資産合計	281,912,848	284,426,686	△ 2,513,838
固定資産合計	3,534,924,868	3,220,098,681	314,826,187
資産合計	3,582,310,882	3,260,290,165	322,020,717
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	346,109	54,570	291,539
預り金	448,568	323,306	125,262
賞与引当金	898,667	868,800	29,867
流動負債合計	1,693,344	1,246,676	446,668
2. 固定負債			
退職給付引当金	3,350,000	2,600,000	750,000
固定負債合計	3,350,000	2,600,000	750,000
負債合計	5,043,344	3,846,676	1,196,668
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	3,577,267,538	3,256,443,489	320,824,049
(うち基本財産への充当額)	(3,234,759,304)	(2,913,526,837)	321,232,467
(うち特定資産への充当額)	(14,902,716)	(19,545,158)	△ 4,642,442
正味財産合計	3,577,267,538	3,256,443,489	320,824,049
負債及び正味財産合計	3,582,310,882	3,260,290,165	322,020,717

正味財産増減計算書

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	70,887,159	68,560,456	2,326,703
基本財産受取利息	68,223,559	64,208,656	4,014,903
基本財産受取配当金	2,663,600	4,351,800	△ 1,688,200
受取会費	400,000	500,000	△ 100,000
普通会員受取会費	400,000	500,000	△ 100,000
受取寄付金	500,000	479,000	21,000
受取寄付金	500,000	479,000	21,000
雑収益	2,667	9,159	△ 6,492
受取利息	1,177	1,184	△ 7
その他収益	1,490	7,975	△ 6,485
経常収益 計	71,789,826	69,548,615	2,241,211
(2) 経常費用			
事業費	50,775,472	58,612,851	△ 7,837,379
研究奨励金	15,836,640	22,908,000	△ 7,071,360
役員報酬	673,354	516,000	157,354
給料手当	9,247,334	13,420,137	△ 4,172,803
賞与手当	1,500,187	1,449,872	50,315
退職給付費用	475,000	528,400	△ 53,400
福利厚生費	1,964,846	3,038,418	△ 1,073,572
支払報酬	1,013,800	0	1,013,800
会議費	200,618	216,614	△ 15,996
旅費交通費	10,773,703	9,773,196	1,000,507
通信運搬費	472,439	416,131	56,308
減価償却費	882,697	887,969	△ 5,272
消耗品費	843,492	198,462	645,030
修繕費	640,978	640,537	441
広報費	2,626,580	1,369,500	1,257,080
印刷製本費	1,045,990	569,250	476,740
維持管理費	736,080	514,421	221,659
光熱水料費	140,646	159,361	△ 18,715
賃借費	137,058	172,969	△ 35,911
公租公課	948,355	921,448	26,907
賞与引当金繰入	569,067	548,453	20,614
雑費	46,608	363,713	△ 317,105
管理費	21,422,441	25,738,233	△ 4,315,792
役員報酬	1,571,162	1,204,000	367,162
給料手当	6,944,846	11,219,889	△ 4,275,043
賞与手当	866,213	846,741	19,472
退職給付費用	275,000	307,600	△ 32,600
福利厚生費	654,945	1,907,430	△ 1,252,485
支払報酬	1,437,200	1,365,100	72,100
会議費	380,912	284,526	96,386

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
旅費交通費	81,610	75,760	5,850
通信運搬費	382,617	329,159	53,458
減価償却費	2,724,640	2,862,596	△ 137,956
消耗品費	376,397	159,895	216,502
修繕費	1,446,919	1,445,923	996
広報費	77,000	79,200	△ 2,200
印刷製本費	161,904	77,000	84,904
維持管理費	954,980	563,921	391,059
光熱水料費	127,241	144,173	△ 16,932
賃借費	123,998	156,487	△ 32,489
公租公課	2,091,678	2,035,322	56,356
賞与引当金繰入	329,600	320,347	9,253
雑費	413,579	353,164	60,415
経常費用 計	72,197,913	84,351,084	△ 12,153,171
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 408,087	△ 14,802,469	14,394,382
基本財産評価損益等	321,232,137	△ 243,266,913	564,499,050
評価損益等計	321,232,137	△ 243,266,913	564,499,050
当期経常増減額	320,824,050	△ 258,069,382	578,893,432
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益 計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産廃棄損	1	1	0
経常外費用 計	1	1	0
当期経常外増減額	△ 1	△ 1	0
当期一般正味財産増減額	320,824,049	△ 258,069,383	578,893,432
一般正味財産期首残高	3,256,443,489	3,514,512,872	△ 258,069,383
一般正味財産期末残高	3,577,267,538	3,256,443,489	320,824,049
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	3,577,267,538	3,256,443,489	320,824,049

正味財産増減計算書内訳表

2023年 4月 1日から2024年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	44,223,544	26,663,615	70,887,159
基本財産受取利息	41,559,944	26,663,615	68,223,559
基本財産受取配当金	2,663,600	0	2,663,600
受取会費	400,000	0	400,000
普通会员受取会費	400,000	0	400,000
受取寄付金	500,000	0	500,000
受取寄付金	500,000	0	500,000
雑収益	330	2,337	2,667
受取利息	0	1,177	1,177
その他収益	330	1,160	1,490
経常収益 計	45,123,874	26,665,952	71,789,826
(2) 経常費用			
事業費	50,775,472	0	50,775,472
研究奨励金	15,836,640	0	15,836,640
役員報酬	673,354	0	673,354
給料手当	9,247,334	0	9,247,334
賞与手当	1,500,187	0	1,500,187
退職給付費用	475,000	0	475,000
福利厚生費	1,964,846	0	1,964,846
支払報酬	1,013,800	0	1,013,800
会議費	200,618	0	200,618
旅費交通費	10,773,703	0	10,773,703
通信運搬費	472,439	0	472,439
減価償却費	882,697	0	882,697
消耗品費	843,492	0	843,492
修繕費	640,978	0	640,978
広報費	2,626,580	0	2,626,580
印刷製本費	1,045,990	0	1,045,990
維持管理費	736,080	0	736,080
光熱水料費	140,646	0	140,646
賃借費	137,058	0	137,058
公租公課	948,355	0	948,355
賞与引当金繰入	569,067	0	569,067
雑費	46,608	0	46,608
管理費	0	21,422,441	21,422,441
役員報酬	0	1,571,162	1,571,162
給料手当	0	6,944,846	6,944,846
賞与手当	0	866,213	866,213
退職給付費用	0	275,000	275,000
福利厚生費	0	654,945	654,945
支払報酬	0	1,437,200	1,437,200

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合 計
会議費	0	380,912	380,912
旅費交通費	0	81,610	81,610
通信運搬費	0	382,617	382,617
減価償却費	0	2,724,640	2,724,640
消耗品費	0	376,397	376,397
修繕費	0	1,446,919	1,446,919
広報費	0	77,000	77,000
印刷製本費	0	161,904	161,904
維持管理費	0	954,980	954,980
光熱水料費	0	127,241	127,241
賃借費	0	123,998	123,998
公租公課	0	2,091,678	2,091,678
賞与引当金繰入	0	329,600	329,600
雑費	0	413,579	413,579
経常費用 計	50,775,472	21,422,441	72,197,913
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,651,598	5,243,511	△ 408,087
基本財産評価損益等	238,355,062	82,877,075	321,232,137
評価損益等計	238,355,062	82,877,075	321,232,137
当期経常増減額	232,703,464	88,120,586	320,824,050
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益 計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産廃棄損	0	1	1
経常外費用 計	0	1	1
当期経常外増減額	0	△ 1	△ 1
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	232,703,464	88,120,585	320,824,049
一般正味財産期首残高	1,918,163,342	1,338,280,147	3,256,443,489
一般正味財産期末残高	2,150,866,806	1,426,400,732	3,577,267,538
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	2,150,866,806	1,426,400,732	3,577,267,538

貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2.に記載しているため、記載を省略しております。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	2,600,000	750,000	0	0	3,350,000
賞 与 引 当 金	868,800	898,667	868,800	0	898,667

財産目録

2024年 3月31日現在

公益財団法人 松前国際友好財団

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金預金			
	現金	手元保管	運転資金として	28,786
	普通預金	三菱UFJ銀行他	運転資金として	44,577,406
	当座預金	ゆうちょ銀行他	運転資金として	2,669,822
	仮払金	Amazon	防災セット	110,000
流動資産合計				47,386,014
(固定資産)				
	基本財産	普通預金	三菱UFJ銀行 三菱UFJ銀行	公益目的保有財産である 公益目的事業に必要なその他の業務又は活動の用に供する財産である
				120,088,673 18,388,730
	投資有価証券			
	外債	円貨建て仕組債 他計6件	公益目的保有財産である	955,975,000
	株式	日本郵政㈱ 他計4件	公益目的保有財産である	18,443,000
	投資信託	野村證券SMA他	公益目的保有財産である	953,665,460
	外債	ノムラクローパルファイナンス 他計7件	公益目的事業に必要なその他の業務又は活動の用に供する財産である	836,945,978
	公共債	東京都公募公債(20年)第1回	公益目的事業に必要なその他の業務又は活動の用に供する財産である	
	投資信託	野村證券SMA他	公益目的事業に必要なその他の業務又は活動の用に供する財産である	331,252,463
特定資産	研究奨励金交付事業積立資産	三菱東京UFJ銀行	特定費用準備資金であり、将来の研究奨励金交付事業のための積立資産である	13,100,000
	修繕積立資産	三菱東京UFJ銀行	特定費用準備資金であり、建物の将来の修繕のための積立資産である	1,802,611
	退職給付引当資産	三菱東京UFJ銀行	職員の退職に係る退職給付金のための引当資産である	3,350,105
その他固定資産	土地	東京都杉並区上荻四丁目14番46号 (1049.56㎡) 東京都杉並区上荻四丁目63番14号 (280.62㎡)	公益目的保有財産であり、公益目的事業の事務所として使用している 来客用者の駐車場として使用している	92,445,440 165,433,517
	建物	東京都杉並区上荻四丁目14番46号 (101.16㎡)	公益目的保有財産であり、公益目的事業の事務所として使用している	19,749,927
	建物附属設備	門扉	財団運営上必要な資産である	54,600
	構築物	塀(フェンス), 銘板, 庭, 駐車場	財団運営上必要な資産である	2,410,365
	什器備品	防草シート, エアコン他	財団運営上必要な資産である	1,111,103
	電話加入権	2本分	財団運営上必要な資産である	2
	保証金	セコム㈱	財団運営上必要な資産である	50,000
	ソフトウェア	PCA公益法人会計ソフト	財団運営上必要な資産である	657,894
固定資産合計				3,534,924,868
資産合計				3,582,310,882
(流動負債)	未払金	新宿年金事務所他	2月分社会保険料他	346,109
	預り金	職員に対するもの	財団職員に対する社会保険料等の預り金	448,568
	賞与引当金	職員に対するもの	財団職員に対する賞与引当金	898,667
流動負債合計				1,693,344
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員への退職給付のための負債	3,350,000
固定負債合計				3,350,000
負債合計				5,043,344
正味財産				3,577,267,538

財務諸表に対する注記

2023年4月1日から2024年3月31日まで

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券 時価評価している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

建物・建物附属設備・構築物・什器備品・ソフトウェア.....定額法によっている。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式により行っている。

(4) 引当金の計上基準

- ① 賞与引当金・・・職員の賞与支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度において発生していると認められる額を計上している。
- ② 退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、当年度末における退職給付債務に基づき、当年度末において発生していると認められる額を計上している。
なお、退職給付債務は、自己都合期末要支給額を計上している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	24,887,673	263,589,400	149,999,670	138,477,403
投資有価証券	2,888,639,164	496,973,777	289,331,040	3,096,281,901
小 計	2,913,526,837	760,563,177	439,330,710	3,234,759,304
特定資産				
研究奨励金交付事業積立資産	18,000,000	0	4,900,000	13,100,000
修繕積立資産	1,545,086	257,525	0	1,802,611
退職給付引当資産	2,600,072	750,033	0	3,350,105
小 計	22,145,158	1,007,558	4,900,000	18,252,716
合 計	2,935,671,995	761,570,735	444,230,710	3,253,012,020

3. 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	138,477,403	(0)	(138,477,403)	(0)
投資有価証券	3,096,281,901	(0)	(3,096,281,901)	(0)
小 計	3,234,759,304	(0)	(3,234,759,304)	(0)
特定資産				
研究奨励金交付事業積立資産	13,100,000	(0)	(13,100,000)	(0)
修繕積立資産	1,802,611	(0)	(1,802,611)	(0)
退職給付引当資産	3,350,105	(0)	(105)	(3,350,000)
小 計	18,252,716	(0)	(14,902,716)	(3,350,000)
合 計	3,253,012,020	(0)	(3,249,662,020)	(3,350,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	57,304,287	37,554,360	19,749,927
建物附属設備	819,000	764,400	54,600
構 築 物	15,921,275	13,510,910	2,410,365
什器備品	6,168,887	5,057,784	1,111,103
ソフトウェア	1,901,900	1,244,006	657,894
合 計	82,115,349	58,131,460	23,983,889

5. 金融商品の状況

(1) 金融商品に対する取組方針

当財団は財団運営の財源の大部分を運用益によって賄うため、一定額を債券、株式投資信託、デリバティブ取引を組み込んだ複合金融商品により資産運用している。但し、投機を目的とするデリバティブ取引は行わないことを原則としている。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

当財団が保有する有価証券には仕組債も含まれており、発行体の信用リスク、市場リスク(金利の変動、為替の変動及び市場価格の変動等のリスク)に晒されている。尚、これら投資有価商品の中にはリスクの高いものとして、中途解約に制約が掛けられ満期以前での資金化が困難な流動性に乏しい仕組債が含まれている。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

① 資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当財団が定める資産運用規程に基づき実施する。

② 信用リスクの管理

債券や仕組債に関しては発行体の信用情報や時価の状況把握に努め、理事会への報告を励行する。

③ 市場リスクの管理

保有有価証券に関しては、時価、市場関連動向、運用状況を常に把握し、理事会への報告を励行する。

以上